

ドラゴンハイパー・コマンドユニット（エネルギー・産業基盤災害即応部隊）の創設

広域応援室

1 はじめに

東日本大震災においては、東北から関東の広範囲にわたり、我が国のエネルギー・産業基盤である石油コンビナート等特別防災区域で大規模火災が同時多発し、周辺住民に避難指示や避難勧告が出されただけでなく、石油等のサプライチェーンの途絶など経済的にも大きな影響を与えました。

消防庁では、こうした経験を踏まえ、石油コンビナート・化学プラント等のエネルギー・産業基盤の被災に備え、「緊急消防援助隊」に新たに特殊災害の対応に特化した部隊である「ドラゴンハイパー・コマンドユニット（エネルギー・産業基盤災害即応部隊）」を平成30年度末までに、全国12地域に編成することとしております。この度、部隊編成の中核となる「大型放水砲車」「大容量送水ポンプ車」を消防組織法第50条（国有財産の無償使用）により、千葉県市原市消防局及び三重県四日市市消防本部に配備いたしました。

2 部隊の編成

ドラゴンハイパー・コマンドユニットは「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」に定める各隊（消火小隊、救助小隊等）に属し、石油コンビナート・化学プラント等のエネルギー・産業基盤における特殊災害発生時には、この中から必要な隊を抽出して再編成し、統一的な指揮の下、一体的な部隊運用を行うものです。

部隊は、エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊、特殊災害中隊、消火中隊を中心として編成するものとし、地域の実情に応じて、他の小隊（特殊装備小隊、後方支援小隊等）を加えるものとしています。

3 配備車両の概要等

(1) 大型放水砲車

全長8.27m、全幅2.49m。大口径の150mmホースを1km積載しており、走行しながら車両後部からホース延長が可能であるとともに、車両上部に搭載された大型放水砲と車載の大型消防ポンプ（A-1級）を活用することで、最大毎分8,000ℓの大容量放水が可能。



大型放水砲車（車両前方）



（大型放水砲）

(2) 大容量送水ポンプ車

全長8.90m、全幅2.49m。海や河川等のあらゆる水利から取水が行える小型軽量水中ポンプを搭載しており、さらに車載の大型消防ポンプ（A-1級）で加圧することで、遠距離（1km先）への大容量送水が可能。



大容量送水ポンプ車（車両前方）



（車両後方）

(3) 資機材

①耐熱服

一般防火服では耐えられない高熱環境のもとで着用する特殊防火服。



②熱画像直視装置

煙中の火点の探索、人命救助、捜索活動、異常高温部分を調査。



③可搬式放水銃

放水方向に固定後、無人でも安定した放水が可能。



(4) 部隊訓練

部隊を編成した市原市消防局及び四日市市消防本部では、配備車両を公開するとともに、即応体制充実強化のため、既存の大型化学消防車・大型高所放水車・泡原液搬送車を加え、放水訓練を実施いたしました。



大型放水砲車による放水



大容量送水ポンプ車による取水

4 シンボルマーク

部隊創設に当たり、部隊名の由来となった、江戸時代から明治時代にかけて用いられた消火道具の「竜吐水」に因み、「竜」をモチーフにした全国統一・シンボルマークを作成しました。部隊編成消防本部におかれましては、車両や防火服等に貼付する等、隊員の士気を高めていただきたいと思います。



シンボルマーク

5 おわりに

この「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」は、東日本大震災での教訓を踏まえ、石油コンビナート等の災害における緊急消防援助隊の応急対応能力の向上のために編成されるものです。今回の車両配備を機に、石油コンビナート地区における自衛消防組織とともに、さらなる訓練を重ね、質・量の両面から緊急消防援助隊の充実・強化を図っていただくことを期待しています。

問い合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 御子柴
TEL：03-5253-7527（直通）